警戒区域内に取り残されたすべての動物たちに光を

手を携え、希望をつなぎ
声なき「いのち」を守る

Photo: Hari

Smile to heart

希望の牧場
～ふくしま～ farm sanctuary Project

http://fukushima-farmsanctuary.blogzine.jp/

「希望の牧場～ふくしま～」モデル牧場
有限会社　エム牧場　浪江農場
〒979-1501　福島県双葉郡浪江町立野春卯野157

「希望の牧場～ふくしま～」事務局
〒150-0043　東京都渋谷区道玄坂1-22-7 道玄坂ピア4F
電話　03-3496-2177　FAX　03-3496-2188
E-mail：kibouno.bokujyou@gmail.com

私たち福島県の農家が飼っていた家畜の商品価値はゼロ、しかも、いつ自分の家に帰ることができるのかもわかりません。私たちの町はまさにチェルノブイリになってしまったのです。絶望の淵で農家の仲間5人が自らの命を絶ちました。この償いは、東京電力と国に対し、一生かかっても求めてゆきます。 みなさんはご存知でしょうか。
警戒区域に取り残された家畜の多くが餓死した上に放置されミイラ化していることを。生き残った家畜についても政府が殺処分の決定を下したことを。「殺せ」これに私は納得などできません。
警戒区域にある私の牧場にはいまも300頭の牛が元気に生きています。
原発事故からこれまで被ばく覚悟で家畜の世話を続けてきました。こうした家畜たちを、経済価値もなく、被ばくした家畜かもしれませんが、必死に生きているその命を、活かす方法はないのでしょうか。

もう無意味な餓死や殺処分には耐えられません。

そこで私たちはいま、政府や自治体に対し警戒区域の家畜を被ばくの研究・調査に活かしてほしいと訴えています。
今後の日本の復興ために家畜の命を活かすことができるはずです。
そのために私は仲間と決死救命、団結を誓いました。
それが「希望の牧場」プロジェクトです。
みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

希望の牧場～ふくしま～代表
浪江農場　場長　吉沢 正巳
2012年5月

「希望の牧場」サポーター基金

- お寄せ頂いた基金は、動物たちの命をつなぐため大切に使います -

ゆうちょ銀行口座振替・銀行振込からの振り込み

記号－番号:10140－59459781
口座名義:希望の牧場福島プロジェクト
（キボウノボクジョウフクシマプロジェクト）

他の金融機関からの銀行振り込み

金融機関名:ゆうちょ銀行
店名:〇一八（ゼロイチハチ）
店番:018
種別:普通
番号:5945978
名義:キボウノボクジョウフクシマプロジェクト

※お振込の際の手数料はご負担となります。何卒ご了承ください。